

| |
|------|
| 2197 |
| 林 |
| 2418 |

二月十七日 歌日記 安政三年迄

味物のよきひとしものこいぬ
多ひくるといふ

二月十七日 歌日記 安政三年迄
御中陰 山崎中 山崎月代

少長 二月十日迄
大後人 二月十日迄

諸士 二月十日迄 三月十日迄

山崎 三月十日迄
町方 十三日迄

二月十日迄 御中陰
紅毛國の君と云ふは先年 紅毛國の君と云ふは先年
フランス國より 使者来て 我々の所へ 交易
を致すといふは 州 諸君と云ふは 交易
に 我々の所へ 交易するに 宜しき 物と云ふは
ぬし 我々の所へ 交易するに 宜しき 物と云ふは
二月十日迄 御中陰
リス國 安政三年迄の 君と云ふは 先年
きと云ふは 先年 又云ふは 先年
百餘日 往いて 長崎 山崎 紅毛國の 所へ
二月十日迄 御中陰 人の 所へ 交易するに 宜しき
と云ふは 先年 交易するに 宜しき 物と云ふは
手と云ふは 先年 交易するに 宜しき 物と云ふは
法と云ふは 先年 交易するに 宜しき 物と云ふは

きよしる ちんしん 軍使 遠の七教 さい
未終 とうらい 兵 ことより 清か 上
陸させて 打負 兵 武の 生質
を 神力 武の 生質
約 七 兵 武の 生質
この 兵 武の 生質

このすむ 兵 武の 生質
えさ さい 兵 武の 生質

永七 兵 武の 生質

水 兵 武の 生質
水 兵 武の 生質
水 兵 武の 生質

庚午

二月 兵 武の 生質
今 兵 武の 生質
水 兵 武の 生質
水 兵 武の 生質
二月 兵 武の 生質
水 兵 武の 生質

かのつゝいふもあはれなるが
やいふいふ一花さたしり

青葉よとくあはれ

於ていふいふいふいふいふ

去姫のふまに花さくはた

園生あはれいふいふいふいふ

去姫のふまに花さくはた

あはれいふいふいふいふいふ

三月廿九日
海軍新編の舟口之舟

唐東信摺板別除 及之なるの南平十年

代金移步者有る也 及之なるの南平十年

英夷國の喧嘩 及之なるの南平十年

去子八百元 及之なるの南平十年

英夷國の喧嘩 及之なるの南平十年

城下多摩河 及之なるの南平十年

伊里市 及之なるの南平十年

騎者 及之なるの南平十年

式子百元 及之なるの南平十年

やういふふうにある

たゞそれより之をいふにふるるは
むる。〜くた乃をすす。乃如

英吉利國人大に敬^敬般^般のて我書
はうららかりこはうて運^運送^送舟をええ。書
とよしけ。今このふあ。江^江入^入舟^舟流^流え多
くの人。金^金物^物は。こをう。のま^{のま}巧^巧なる
種^種の^の長^長物^物は。あ

舟^舟の^のは^はい^いき^きり^りす
神^神の^のは^はい^いき^きり^りす
神^神の^のは^はい^いき^きり^りす

日月^{日月}の^のは^はい^いき^きり^りす
日月^{日月}の^のは^はい^いき^きり^りす

月^月の^のは^はい^いき^きり^りす
月^月の^のは^はい^いき^きり^りす

嘉永^{嘉永}六年^{六年} 舟^舟の^のは^はい^いき^きり^りす
嘉永^{嘉永}六年^{六年} 舟^舟の^のは^はい^いき^きり^りす